

平成30年度 個別入学資格審査（4期）小論文課題

千葉商科大学大学院
会計ファイナンス研究科

次の3題（Ⅰ～Ⅲ）から1題を選んで解答しなさい。

Ⅰ 次の経営学に関する問いについて答えなさい。

以下の設問の内、3問を選択し、簡潔にかつ要領を得た解答に努めること。
なお、解答文中のキーワードには下線を引くこと。

1. 経営戦略について、その必要性和その前提となる事柄について述べよ。
2. ブランドの果たす役割に付いて述べよ。
3. 企業の社会的責任について述べよ。
4. プロダクトライフサイクルについて述べよ。また、利益最大化はどの段階で生じるのかを示せ。

以上

II 次の会計学に関する問いについて答えなさい。

問題1

次の文を読んで以下の問に答えなさい。

三分法において、前期繰越商品を期末に仕入勘定に振替える仕訳をするのか、あなたの考えを述べなさい。

問題2

株式を公開している T 社代表取締役 N 氏は、「投資家に必要な企業経営に関する情報のすべてが配当によって提供されている」ということを理由に、T 社の会計情報の開示を拒んでいる。

あなたは、N 氏にどの様に意見をするか述べなさい。

問題3 本支店会計

水道橋商事株式会社の第20期の決算整理前の勘定残高は、解答欄の精算表の試算表欄のとおりである。

次の資料〔I〕および〔II〕にもとづいて、精算表を完成しなさい。ただし決算は年1回である。

資料〔I〕決算にあたって、調査の結果、次のことを発見した。

1 現金出納帳と実際有高を照合したところ、実際有高が1,000円不足していたので調査したが、その原因は不明であった。

2 当座預金について銀行勘定調整表を作成したところ、次の事実が判明した。

(1) 銀行より当社への通知未達分

中京銀行からの借入金利息引落し分 6,500円

取り立て依頼していた手形の取立分 17,000円

(2) 仕入先札幌商店に対する買掛金支払いのため、小切手20,000円を振り出し交付したが、まだ引き落としされないままになっている。

(3) 仕入先福島商店に対する買掛金支払いのため振り出した小切手16,000円を、15,000円と記帳していた。

資料〔II〕期末修正事項は、次のとおりである。

1 期末商品棚卸高

帳簿棚卸数量 1,400個 実地棚卸数量 1,300個

1個あたり単価原価 120円 正味売却価額 115円

なお、商品売買の記帳は売上原価対立法を用いている。棚卸減耗損と商品評価損は売上原価に算入しない。

2 売上債権に対して、以下のように貸倒見積額を算定し、差額補充法により貸倒引当金を設定する。

A社振出の約束手形 53,000円：手形額面金額の50%を見積る。

B社に対する売掛金 75,000円：債権金額の20%を見積る。

その他の売上債権：貸倒実績率により2%を見積る。

3 売買目的有価証券の時価は395,000円である。

4 固定資産の減価償却は次のとおり行う。

建物：定額法，耐用年数30年，残存価額取得価額の10%

備品：定率法，償却率年25%

5 修繕引当金を6,000円計上する。

6 退職給付費用を25,000円計上する。

Ⅲ 次の経済学に関する問いについて答えなさい。

以下の設問の内、3問を選択し、簡潔にかつ要領を得た解答に努めること。
なお、解答文中のキーワードには下線を引くこと。

1. 近時の日本の GDP に付いて、実質額と名目額の関係を述べよ。そして、そのような関係（大小）になった理由を述べよ。
2. 貨幣の機能とは、何か。
3. 国民所得が増加した場合、需要 / 供給曲線はどのようにシフトするかを、図示せよ。また、図示に際して前提になる財の種類を示すと共に、その理由を述べよ。
4. 中央銀行の政府からの独立性を是とする場合、必ず用いられる理論がある。その理論を示すと共に同理論に基づいて、独立性を是とする論拠を述べよ。

以上